

清水小学校の資料と比較してみることによって、下流ほどレキは小さく、まるみをおびてくることがわかり、流水のはたらきを一層よく理解させることができます。

## 三河台小学校

### 1、川原のようすと流水のはたらき

(1) 調べる場所

須川の八木田橋付近

(2) 八木田橋から、川原や水の流れの様子を観察し、全体のおおよそのスケッチをする。

① 川原の位置、川岸の様子、川原の大きさ、水の流れている幅など、おおよそを書き入れておく。

② 川が大きく曲がっている場所で、川原ができているのは、流れの内側か、外側か。また、流れの外側の土手はコンクリートでかためられています。なぜだろうか。

(3) 川原において流水のはたらきを調べる。

① ⑦付近で、流れの内側と外側で速さがどのように違うか、30mぐらいの長さを測り、木片などを流して流速を測定する。

② ①付近で、川原から対岸に進むにつれ、川の深さや流れの速さ、川底に持っている砂やレキがどのように違っているか、水中のぞき箱などを利用し、調べてみる。

